

伊豆山復興まちづくり通信

熱海市都市整備課 復興調整室広報誌

第44号
第45号
R 8.1
R 8.2

令和3年7月の土石流災害により被災されました皆様におかれましては、心よりお見舞いを申し上げます。

今号では、「第6回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会の開催結果」、「第1回熱海市伊豆山慰霊碑建立検討の場の開催」、「(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター・消防団第4分団詰所の整備状況」についてお伝えします。

第6回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会の開催結果

第5回懇話会でいただいた意見への対応の報告と、復興計画変更案について意見をいただく場として、「第6回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会」を開催しました。

【概要】

- 日時:令和8年2月10日
14:00~16:00
- 場所:熱海市役所第1庁舎
4階第1・2会議室
- 出席者:委員9名
(座長:齊藤市長)
熱海市、静岡県
- 議題
 - ・第5回懇話会での意見とその対応について
 - ・熱海市伊豆山復興計画変更案について
 - ・意見交換



開催風景①

【委員一覧】

- 齊藤 栄 (座長)
- 高見 公雄 (副座長)
- 高橋 一美 (町内会長連合会)
- 太田 利康 (岸谷町内会)
- 中田 剛充 (浜町内会)
- 前田 真弓 (仲道町内会)
- 太田 かおり (各団体)
- 大館 節生 (//)
- 中島 秀人 (//)
- 原 幸一 (//)



開催風景②

【主な意見】

- ・伊豆山復興相談窓口「いずさんっち(旧農協)」について、地域コミュニティの場に行政自らが出向く等、住民に寄りそった対応をしてほしい。
- ・河川道路工事の進捗が、目に見えて確認できつつあるが、特に河川は住民の命に関わるので、優先的に進めてほしい。
- ・災害記録の伝承について、将来的な防災対策として機能するよう、行政による「部署横断的な一元管理および保存」が重要な方策の1つである。
- ・中流部の公園への行き方について、足腰に不安のある方もアクセスしやすいような道の整備をお願いしたい。
- ・慰霊碑建立について、犠牲者のお名前の記載の有無等も含め、遺族とのすり合わせの上進めてほしい。
- ・まちづくりについて、創造的な復興に向けた計画の再確認を早急に行うと同時に、復興を見据え民間企業や住民との協働等が求められる。
- ・説明会や意見交換会での回答を、電子機器を持たない人でも確認できるような仕組みを考えてほしい。
- ・(仮称)伊豆山コミュニティ防災センターおよび消防団第4分団詰所について、災害時に十分機能するように(マンホールトイレや電気供給等)、あらゆる事態を想定し整備してほしい。

第1回熱海市伊豆山慰霊碑建立検討の場の開催

「第1回熱海市伊豆山慰霊碑建立検討の場」の開催を予定しております。

日程等については現在調整中ですが、参加を希望された御遺族様と慰霊碑の建立について検討してまいります。

検討の場で決定した内容については、まちづくり通信等で皆様に随時お知らせいたします。

【慰霊碑建立検討の場の概要】

令和3年7月3日に発生した熱海市伊豆山土石流災害によりお亡くなりになられた方々を追悼し、その記憶と教訓を後世に伝えていくための慰霊碑を建立するにあたり、意見交換を行う場として開催いたします。

検討の場は3回程度で、設置場所や形状、材質などの条件例示、3案程度に絞った上での御遺族への審査依頼、審査内容の参加者報告を行う予定です。

(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター・消防団第4分団詰所の整備状況



(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センターについて、令和8年度供用開始に向けて工事中です。防災備蓄倉庫の機能に加え、地域コミュニティ活動の場や、災害発生時の自主防災会による一時避難所として利用予定です。また、管理運用体制について伊豆山連合町内会等と協議しながら検討しております。



消防団第4分団詰所についても、令和8年度供用開始を目指し、工事を行っております。コミュニティ防災センターと同様、敷地内には、災害時に使用できるよう、かまどベンチやマンホールトイレを設置する予定です。

お問合せ先

熱海市都市整備課 復興調整室
〒413-8550 熱海市中央町1番1号
TEL 0557-86-6422
E-mail fukkou@city.atami.lg.jp

伊豆山復興まちづくり通信

検索



熱海市公式ホームページ